

入院から退院まで多職種がシームレスに連携

患者さんの入院が決まったら、医師・看護師をはじめ、患者さんに関わる多職種スタッフが、入院から退院までスムーズに進むよう準備し、以下のような支援を行っています。
安全で質の高い医療を実践するためには、医療者だけではなく、患者さんにもチーム医療の一員としてご協力いただくことがたくさんあります。
退院後の生活を見据えて、寄り添いながら、いっしょに早期回復を目指してまいります。



在宅療養支援室

- 入院決定時**
 - 入院が決まったら、「入院問診票」をご記入ください
- 入院**
 - 入院前支援として、オリエンテーションを行います
患者さんの不安軽減や早期の状態把握を目指します。
 - 手術前に動画をご視聴ください
術前後の様子をまとめた当院オリジナル動画（約10分）の視聴、呼吸器訓練（トライボール）の説明（約30分～60分）があります。
- 退院決定時**
 - 退院・在宅療養支援室とは
 - 入患者さんが住み慣れた地域で自分らしく自立した生活が送れるように、医療・福祉・介護・予防・生活支援・住まいを包括的かつ継続的に提供することを目的に、入院時から「退院先の希望」や「生活状況」の確認を行っています。
 - 安心して退院し、その後の生活が送れるよう、必要なケアや手技指導、ご家族支援などを行い、医療チーム（医師、看護師、社会福祉士、薬剤師、管理栄養士、リハビリセラピストなど）で支援を行っています。

看護師

- 外来**
 - 入院前から始まっています！多職種連携
入院決定時から、医師を中心に多職種が関わります。うまく連携できるよう、様々な情報をデータベースとして院内で共有し、より安全な医療の提供、早期回復・退院支援につなげています。
- 急性期病棟**
 - 患者さんに応じたケアを提供します
入院前支援を外来で行うようになり、病棟では入院直後から患者さんの個別ケアに集中できるようになりました。
- 地域包括ケア病棟**
 - 安心して退院できるようにサポート
退院後の準備が必要な方やレスパイト入院の方に対し、ケアを行いながら、退院後の意向や不安を傾聴しています。

担当看護師が主体となって、多職種でカンファレンスなどを行い、チームで支援しています

管理栄養士

- 入院前に、アレルギーの有無を確認します**
食事や栄養面で気になることがありましたら、管理栄養士までお気軽にお尋ねください
- 手術前は、栄養管理を行います**
- 手術後は、食事量や食欲の有無・体の状態などを毎日確認して調整します**
- ライフスタイルに応じて支援します**
退院が近づくと、多職種と連携し、退院先やライフスタイルを考慮した食事提供や栄養食事指導を行います。施設への転院や在宅サービスを利用される場合は、今後の注意点などを共有しています。

薬剤師

- 入院前に、お薬手帳で服薬内容を確認します**
入院が決まったら、薬剤師から現在服用または使用されているお薬のことはお伺いし、手術前などでお休みが必要なお薬を確認してお伝えします。また、お薬の内容を正確に把握するために、お薬手帳を確認させていただきますので、ご持参ください。
- 入院当日、使用中のお薬を確認します**
使用中のお薬を確認の上、主治医と相談し、お薬の内容に変更がある場合にはご説明いたします。
- 入院中、副作用症状などを確認します**
定期的にお部屋に伺い、お薬の副作用症状やつらい症状がないかを伺います。
- 退院後もお薬を安全に服用するために**
服用するお薬の説明や包装（一酸化）、わかりやすい管理方法の提案などを行います。

リハビリ

- 手術前**
術後肺合併症の発症リスクが高い場合は、術前からの介入も行っています。
- 急性期**
ベッドサイドで呼吸練習や座る練習を行い、早期離床を促進します。
- 回復期**
立つ・歩くなど積極的に動き、体力の増進を図ります。
- 退院前**
ご自宅での生活を想定した動作練習や住環境へのアドバイスなどを行います。